

デッキ形2ハンドルシャワー・混合栓



取扱説明書(安全編)

安全上のご注意

お客様保管

■施工前にこの取扱説明書を必ずお読みの上正しく施工してください。尚、この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した **注意** は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

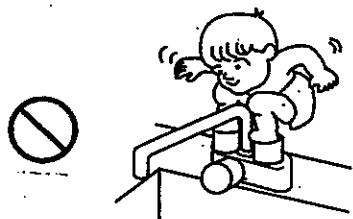
この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

この絵表示は、「接触禁止」の内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

注意

器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。



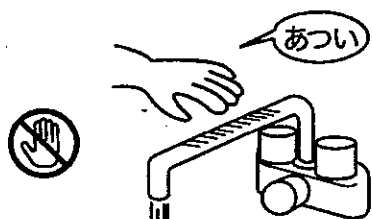
器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

器具の左側は給湯側のため高温になっています。金具(金属)の表面に直接肌を触れないでください。



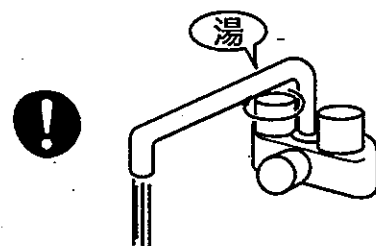
やけどをするおそれがあります。

高温の湯をお使いのときには吐水パイプは高温になっています。直接肌を触れないでください。



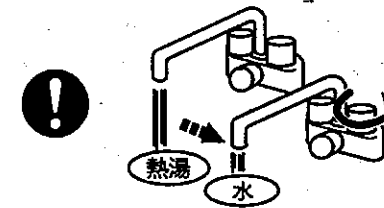
やけどをするおそれがあります。

湯を止めるときは、必ず湯側のハンドルから閉めてください。



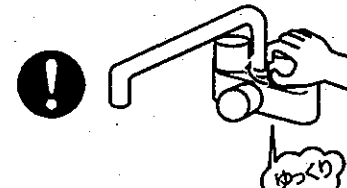
次に使用すると、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。



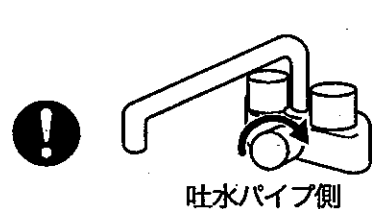
次に使用すると、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

ハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。



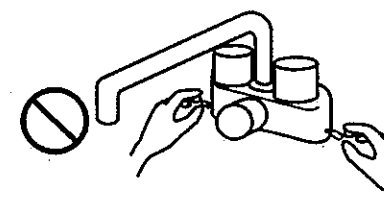
漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワー使用後は、切換ハンドルを必ず吐水パイプ側に切換えてください。(シャワー付製品の場合)



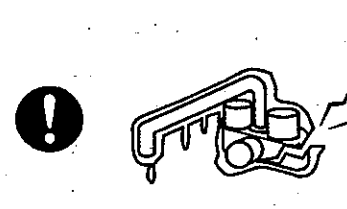
切換ハンドルがシャワー側になっているのを気付かず湯を出すと、やけどをするおそれがあります。

水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。(水抜き栓付き製品の場合)



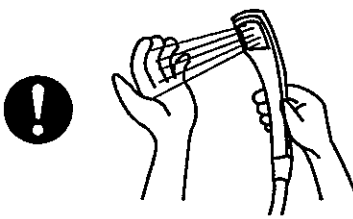
水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結が予想される際は、配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。(寒冷地仕様の場合)



凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。(シャワー付製品の場合)



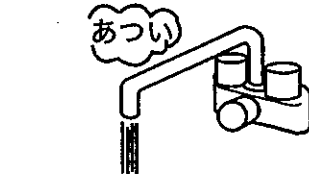
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

お使いになる前に、吐水パイプ側かシャワー側かを切換ハンドルで確認してから湯をお使いください。(シャワー付製品の場合)



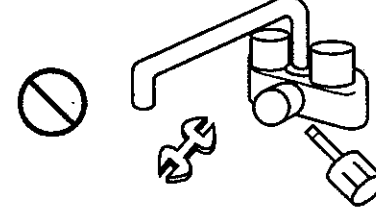
吐水パイプ吐水とシャワー吐水を間違えると、やけどをするおそれがあります。

他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。



やけどのおそれがありますのでやけどのおそれのないところまで水圧変動を押さえた配管設備にするか、サーモスタット式水栓を使用してください。尚、2ハンドル水栓に比べサーモスタット式水栓の方が水圧変動による吐水温度の変化はわずかな値となります。

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。



器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

やけど、漏水をした場合の処置

やけど

やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門家の医師の診察を受けてください。

漏水


漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。


施工説明書(安全編)


施工に関する安全上のご注意 お客様保管

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みの上正しく施工してください。尚、この施工説明書は必ずお客様にお渡しください。

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した **△注意** は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

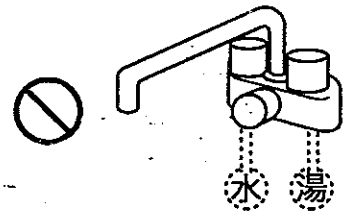
 この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

 この絵表示は、「接触禁止」の内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

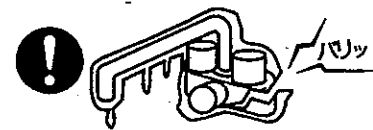
△注意

湯水を逆に配管しないでください。



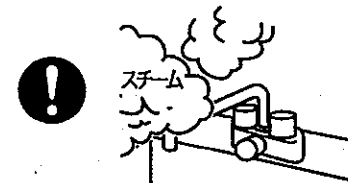
水をだそうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
(寒冷地仕様の場合)



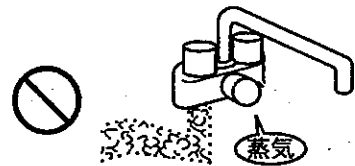
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。凍結が予想される地域には寒冷地仕様水栓をご使用ください。

スチームルーム及び乾燥室にご使用の際は相談ください。



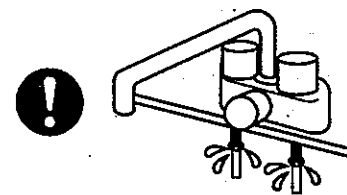
器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。

給湯に蒸気を使用しないでください。



器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。

施工完了後は、配管接続部及び器具から水漏れのないことを確認してください。



漏水で、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。